

令和2年度第2回 函館市東部地域まちづくり懇談会 会議録

開催日時	令和3年3月24日 水曜日 15時00分～16時44分		
開催場所	函館市恵山コミュニティセンター 集会室		
内 容	1 開 会 2 座長挨拶 3 議 題 ・報告事項（令和2年度活動報告について） ・協議事項（今後の活動について） 4 そ の 他 5 閉 会		
出席者	別紙「出席者一覧」のとおり（出席15名，欠席5名）		
報道関係	北海道新聞社		
事務局 出席者 職氏名	戸井支所地域振興課長 井上 徹也 戸井支所産業建設課長 小園 敏弘 恵山支所地域振興課長 桐澤 武磨 恵山支所産業建設課長 小林 竜司 楸法華支所地域振興課長 京野 尚 南茅部支所産業建設課長 西村 雅人 企画部計画推進室計画調整課主査 田中 彩香	戸井支所地域振興課主査 泊澤 宏一 戸井支所地域振興課主任主事 長井 駿 恵山支所地域振興課主査 奥野 秀光 恵山支所地域振興課主任主事 平 浩之 恵山支所地域振興課主任主事 坪 直也 恵山支所産業建設課主査 松本 光隆 楸法華支所地域振興課主任主事 藤枝 直哉 楸法華支所産業建設課主査 山岸 文生 南茅部支所地域振興課主査 佐々木 愛 南茅部支所地域振興課主事 佐々木 健人	(計17名)
1 開 会 (15時00分)			
桐澤課長	<p>定刻となりましたので、ただいまより令和2年度第2回東部地域まちづくり懇談会を始めさせていただきます。</p> <p>本日はお忙しい中、ご出席をいただきありがとうございます。</p> <p>私は、この懇談会の事務局を務めます恵山支所地域振興課長の桐澤と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>昨年9月30日に第1回目を開催させていただいたところですが、そこで開催要項の説明や座長を選出させていただき、協議する最初のテーマを「観光振興」と決めさせていただきました。</p> <p>そして本日第2回目を開催させていただきますが、本日の内容ですが、この半年間、観光振興の分科会が活動しておりまして、その活動報告をさせていただき、さらに今後の活動について協議をさせていただき、といった流れになると考えております。</p>		

2 座長挨拶	
桐澤課長	<p>それでは、座長である恵山支所長の小笠原よりご挨拶をさせていただきます。</p>
小笠原支所長	<p>皆様方におかれましては、年度末という多忙な中、ご参集いただきありがとうございます。本日は、先程、事務局より説明があったとおり、これまでの活動報告と今後の活動に向けてが議題となっております。</p> <p>昨年9月以来の開催となりますが、この間、新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の自粛等、当市におきましても、その影響が顕著に表れているものと受け止めております。</p> <p>また、当東部4地域におきましても、基幹産業となります水産業においては、魚価の低迷等厳しい状況が続いているというお話もお聞きしており、今は全ての方々が、このウイルスと懸命に戦っているところでございます。</p> <p>今回のテーマと決めた「東部地域の観光振興」につきましても、以前の状況に戻るまでには、まだまだ時間を要するものと考えますが、いつか来る、その日のために準備をしておくことが重要でありますことから、しっかりと議論を進めて参りたいと思っております。</p> <p>明けない夜はございません。観光需要が戻った時に、最高のスタートダッシュが切れるよう、本日も出席者の皆様から忌憚のない自由闊達な意見が出されることをご期待申し上げ、開催の挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日もどうぞよろしくお願いたします。</p>
桐澤課長	<p>次に、今回初めての出席という方もおられますので、改めて出席者の紹介をさせていただきます。所属とお名前をお呼びいたしますので、恐れ入りますが、その場でご起立をお願いいたします。</p> <p>最初に戸井支所管内からご紹介させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸井地区町会連合会会長の松田様です。 ・戸井漁業協同組合専務理事の川原様です ・函館東商工会は都合により欠席です。 ・函館市第26方面民生児童委員協議会会長の植野様です。 <p>次に恵山支所管内をご紹介させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恵山地区町会連合会、えさん漁業協同組合および函館東商工会は、都合により欠席です ・函館市第27方面民生児童委員協議会副会長の遠藤様です。 <p>次に榎法華支所管内をご紹介させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・榎法華地区町会連合会会長の川口様です。 ・えさん漁業協同組合榎法華支所支所長の佐々木様です。 ・函館東商工会総代の五ノ井様です。 ・函館市第28方面民生児童委員協議会会長の新谷様です。 <p>次に南茅部支所管内をご紹介させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南茅部町内会連絡協議会会長の熊谷様です。 ・南かやべ漁業協同組合は都合により欠席です。 ・函館東商工会副会長の佐藤様です。 ・函館市第29方面民生児童委員協議会会長の佐々木様です。 <p>次に、各支所長を紹介させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸井支所長の西川でございませす。

(4)では、第3回分科会として、今回までの間に各支所で作成した観光マップの素案について検討を行うことから、分科会メンバーに各支所の産業建設課のほかレンタカー事業者および地域の観光事業者を加え意見を伺いながら成案化へ向けて様々な検討を行ったほか、これまで各支所がそれぞれ独自で管理していた観光素材に関する情報を「函館市東部地域観光素材データベース」として統一した書式および内容での整理を行っております。

今後は函館市のホームページなどで公開し、観光マップなどに記載しきれない情報を提供するコンテンツとしての活用を検討しております。こちらは資料3として添付しておりますので、後ほどご覧いただければと存じます。

(5)では、第4回分科会として東部地域の観光マップの成案化を図りました。本日は資料の4として案を示しておりますのでご意見をいただければと存じます。

それではマップの説明をさせていただきます。タイトルは函館イーストエリアガイドで、A3サイズを両面印刷し二つ折りの仕様としております。表紙には、各地域の代表的な観光スポットの写真と東部地域の地図でマップに掲載した観光スポットや飲食店等を示しております。

中をお開きください。こちらのページは東部地域の観光スポットをカルチャー（文化）・アクティビティ（遊び）・ネイチャー（自然）・ショッピング（買い物）と大きく4つの分類として掲載しております。

それぞれの観光スポットにはQRコードを付けており、読み取ってもらいますとウェブ上でより詳細な説明が見られるよう工夫をしております。

裏面をご覧ください。上段には、グルメガイドとして地域ごとに飲食店の情報を掲載し、下段には、ディープインフォメーションとしてこれまであまり取り上げられてなかった、地域の知る人ぞ知るようなスポットを掲載しております。ガイドマップの発行は函館市、監修を東部地域まちづくり懇談会としております。

なお、本日の懇談会での監修が終了したのちに作成する際には、業者発注とせず、自製で印刷を行う予定としております。この理由としましては、ガイドマップを検討していた際に紙面の都合上などで、掲載できなかった施設等がまだまだありますほか、各ジャンルをもっと深く掘り下げたガイドも必要との意見があったことから、今回作成して終わりということではなく、今後、それぞれのニーズに合わせ柔軟に作り替えていけるよう、著作権や予算に制約を受けにくくするためにも自製での印刷としたところです。印刷の際は紙質はもう少しよいものを使いたいと考えております。

また、配布についてはゴールデンウィーク前に行いたいと考えております。以上、報告事項の説明を終了いたします。

小笠原支所長

ただいま分科会より説明がございました。要約いたしますと、地域の観光素材の共有とデータ化、また、プロモーションへ活用するためのマップ化という報告でございまして、これらを推進するにあたっての具体的な検討内容についての説明があったところです。

この説明をもとに、今日はまず出席者の皆様方からご質問や意見等があれば忌憚のない意見をお伺いしたいと考えておりますが、意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。

楫) 川口氏	どこから質問していいかわからないので、資料1から順に意見を出していった方がいいのではないかと。
小笠原支所長	ただ今川口氏から、ひとつずつ議論した方が深まるのではないかとのご意見がありましたので、そのようにしたいと思いますが、ご異議はありますでしょうか。 (異議なし)
小笠原支所長	それではそのように致したいと思います。それではまず資料1について、ご意見、ご質問はありますでしょうか。
戸) 松田氏	資料1の戸井支所の本州最短の地で、袋澗も当時は7か所くらいあったが、いま残っている袋澗は1か所のみなので、そういう意味で産業遺産としていいかとも思うが、この地区は波が高く、防波堤もある場所なので、いいのかどうか検討する必要がある。 また、この箇所 <small>の</small> 100mくらい背後地にアーチ橋があり、本州最短の地は観光客が通り過ぎる。袋澗よりアーチ橋の方が見る人が多いので、アーチ橋も含めてほしい。
小笠原支所長	今後分科会の方で検討していきたいと思います。
楫) 川口氏	観光客はアーチ橋の方が多い。貴重な平和遺産ということで、かっこいいので載せてほしい。徳島の渦巻きを見たが、戸井の潮流もビジュアルがいいので残してほしい。北原白秋の句もあるので、石碑も考えてほしい。同じ月に啄木も函館に渡ってきているという話も繋がってほしい。アイヌモシリという言葉を使ったということも繋げてほしい。 トープスヴィレッジは世界的な建築家 <small>もづなきこう</small> の毛綱毅曠さんが作ったはず、中秋の名月になると前の池に映りそれを狙って観光客がくる。そういう世界的な設計という事も知られていないので、資源の1つになる。 風景を演出することが大事だが、浜町のビーチがきれいだ。昔から海水浴場だったが、きれいなビーチなので、PRしたい。その上のバイパス上のコンクリートは蔦がきれいで秋には紅葉もきれいだ。金森倉庫にも似ているので、活用できるのではないかと。ピカソの絵や岡本太郎の絵にも見える。みんな写真を撮っているから、東海岸の魅力を盛り上げるひとつになる。
小笠原支所長	今回資料1で提出したのは、あくまでも視察した箇所に過ぎないので、このような形で皆様から意見をいただければ分科会でもんでいけるので、今日のご意見をたくさんいただきたいと思っています。
小林課長	分科会でもここに載っていないところの話題も出ており、まだまだ載せきれない部分もある。今後は興味のある方にスポットを当てて掘り下げるのも一つだと話題になっていたから、今日の意見を参考にしたいと思っています。
南) 熊谷氏	調査結果でそれぞれの地域で疑問符がつくところもある。紹介の仕方について誰がやるのか見えない。

小笠原支所長	<p>次の議題にもなりますが、あくまでも本日の分科会からの報告は、それぞれの地域の方が分科会のメンバーになっており、他の地域に何があるのかなか分らないこともあるので、各地域の代表スポットを見てみたいという第一段階の調査となります。他のスポットもまだまだあるという意見を皆様からいただきたい。次の議題では皆さんの意見をもらいながら、どのように進めていけばいいかを考えていきたい。</p>
南) 熊谷氏	<p>多すぎてもまとまらないので、各地域のスポットを3つほどに絞って財源を確保して外部にPRしていくのがいいと思う。</p>
小笠原支所長	<p>最終的にすべてを網羅するのは難しいと考えており、議論を深める中で、テーマによりピックアップする施設を考え、最終的には地域にお金が落ちる仕組みを作っていきたい。まだスタート段階と考えております。</p> <p>次の資料2でこれを基に具体的にどのように検討をすればいいかの説明もあるので、そことも関わってくると考えています。</p>
楢) 川口氏	<p>今資料1についてご意見を伺いましたが、他にはよろしいでしょうか。それでは続いて、資料2についてご意見等ありますでしょうか。</p> <p>本州はお金の落とさせ方が上手だ。北海道はそれが難しいと言われてきた。あまり営利に走ってもダメだが、歴史観光と今日的な平和も1つのテーマ。縄文も平和がテーマ。それを未来に繋げていく。歴史、今日、未来と3つくらいのテーマに分けて観光のメインにすれば分かりやすいと思う。</p>
南) 熊谷氏	<p>マップが見づらい。文字が小さい。南茅部では地域にある飲食店の紹介がネック。どのように周知するかが難しいので、分科会で解決策の知恵を借りたいがどうか。</p>
小笠原支所長	<p>一番大事ななお金を落としてもらう仕組み作りだと思います。本日の協議事項の中で、分科会としての素案もあるということで説明を求めますので、その中で議論していければと思います。</p>
戸) 松田氏	<p>4支所の中で温泉が一番最後に出たのが戸井だ。他3地域は温泉の歴史が古い。昔は温泉施設の近くにプレハブやテントが数張出ている、地元の土産品を売っていたが、採算が取れないのになくなった。今やろうとしても人口減などの状況もあり、採算を考えると難しいのかなと思う。</p>
恵) 遠藤氏	<p>新たな観光資源を掘り起こして地域の活性化を進めていくとのことだが、誰が主体となってやっていくのか。地域に住む人が主役であり主人公だと思うが、お金がない中で、どうやって地域、観光客にPRを誰が主体となってやるのかが見えてこない。</p>
小笠原支所長	<p>誰が主体かということになりますと、地域の皆さんが主役という事になるかと思っています。先に物を作ってしまっ準備しても、人が来てくれるとも限りません。ですからまず、皆さんの意見をお聞きしながら、このエリアの</p>

	<p>魅力を重ねていって、点でなく面として、地域ごとに提供できるものを出していくという議論が始まったばかりですので、皆さんが主役となってアイデアをお出しになっていく中で、この会議で、こういう可能性はどうかというものを作り上げていきたいと考えています。</p>
南) 熊谷氏	<p>東部4地域が連携した中での観光客誘致というのが会議の趣旨だと思うが、アイデアは懇談会で出し、分科会でもんで、最終的に誰がやるのかという話までいってしまう。財源はどう確保するのか。地域の人は素人なのでなかなかうまくいかないと思う。観光ルートを作ってどう周知するのか、誰がやるのか、財源をどうするのかがないと先に進めないと思うがどうか。</p>
小笠原支所長	<p>財源に関しましては、この会議は任意の会議でございます。それぞれの地域のスペシャリストの皆様から意見をもらう場で、そこに行政も同じ立場で参加させていただいております。時にはお金が必要な場面もありますし、今ある仕組みを活かせばお金がかからない場面もあるのかなと思います。この会議が親会議になりますので、分科会で作った案を皆さんにお諮りし、成案化して、そこで行政として支援できるものがあれば、行政も関わりを持つというのは当初から考えておりますが、どのようなものが出来るかは、これから作っていききたいと思います。例えばマップを作ってプロモーションしていくという時に、誰がやるのかということになりますと、具体的には分科会でやります、行政が実際にプロモーションして、売り込んでくるのが現実的なのかなという気はします。</p>
南) 熊谷氏	<p>行政が担ってくれるというのは大変ありがたい話。しかし、今は民間の人が集まっているいろんな意見を出し合い、中心となってPRしていく、自分たちの地域を盛り上げていくという方向になるのかなと思います。そうすると、行政はお金を出してくれるだけでいい。知恵も出してもらうが、行政が100%それに携わるといのはどうなのか。行政は知恵を出し、民間の活力を上げていくという事でないと長続きしないのではないか。今まで行政が中心となってやってきたものに成功した例はない。せつかく地域の代表が集まっているのだから、そういう方向で知恵を出してもらいたい。</p>
小笠原支所長	<p>おっしゃる通りだと思います。行政として出来ることと出来ないことがあります。そこは役割分担になるのかなと思います。行政主導でいくとうまくいくものもうまくいきません。それは分かっていますので、皆さんの意見が尊重されて出来上がっていく形が一番望ましいと思っていますので、そのためこのまちづくり懇談会と受け止めております。あくまでもそこへいくための方向性であったり途中の議論をまとめさせていただき、進行を管理するという部分で行政として会議を進めておりますが、地域が自ら関わって作り上げていくのが最終形と理解しております。</p>
南) 熊谷氏	<p>質問ですが、南茅部観光協会はないんですが、榎法華、戸井には観光協会はあるんですか。全てないんですか。小さくてもあれば、観光協会そのものが中心となり民間のアイデアを吸い上げながらやっていけるのかなと思うが、皆さんも漁業をやっているの、私を始めこういうことには疎いのかなと思います。だから、民間の力を借りながら、皆さんの力を借りながら観光</p>

	<p>振興をやっていきたいと思いますと言ってもなかなか無理な話だ。そこで、行政は金を出すけれども、知恵もある程度出しますけれども、いかに地域の人に頑張ってもらえるか。4地域は漁業の町だが中身は違うので難しいと思う。この会議で集まって知恵を出してほしいと言っても難しい。それを引っ張り出すように行政が力を貸してもらいたい。行政は金をたくさん出しますよ、皆さんには知恵も授けますから、それを参考にしてもらって地域でそれぞれ頑張ってくださいというのがいいのかな。ある時期までは行政が主になってやっていけないといけないのかなという思いはありますが、ある程度の時期に来たら、それぞれの地域の人に協力してもらいながら、PRしていく方がいいかなと思います。</p>
小笠原支所長	<p>第1回目の設立会議の際にも確認し合ったと思いますが、皆様にダイレクトに意見を出してくださいと言ってもなかなか難しい面もありますので、分科会の中で、学識経験者や分野に精通している方も交えて話をし、親会議である懇談会の中で最終的な意見を頂戴したいという趣旨でございます。まだこれから分科会の方で色々なプロフェッショナルの方を巻き込みながら、少しずつ成案化に近づけて皆様方に報告していくように進めて参りたいと思いますので、その点をご理解頂ければと思います。</p>
榎) 川口氏	<p>明日にも縄文が世界遺産になるという中で、住民の縄文に対する理解度が低いことを危惧している。九州新幹線が入った時、熊本市では400人もボランティアで説明やおもてなしが出来るようにしていた。函館市では新幹線が入った時、そのような体制ができなかった。縄文に入る前に嫌な思いをしてしまうと二度と来てもらえない。</p>
小笠原支所長	<p>地域のおもてなしの力の向上が必要だというご意見でございました。そのほか、資料2についてはよろしいでしょうか。今言われた意見を踏まえて進めてまいりたいと思います。</p> <p>それでは、次の議題に移りたいと思います。</p> <p>今年度は限られた時間の中でこれらの作業を進めて参りましたが、皆さんからも意見がたくさん出ているように、一番大事な課題は、今後これらをどのように活かしていくかに尽きると思います。</p> <p>次に協議事項として、分科会の方から今後の活動についての考え方の説明を求めたいと思います。お願いします。</p>
小林課長	<p>それでは、「協議事項」、今後の活動について説明いたします。</p> <p>1の可能な取り組みについてですが、現在、四点ほど取り組みを考えております。先ほどガイドマップの説明の中でも触れさせていただきましたが、まずはガイドマップを完成させて印刷を行い、次にそのガイドマップを本市を訪問した観光客が目に触れ、手に取れるよう、市内および近郊のタクシー、レンタカーおよびバス会社などに既存の観光資料とともに配布しながら、東部地域の観光についてプロモーションしたいと考えております。</p> <p>加えて、観光マップおよび観光データベースを市のホームページや函館市公式観光情報サイトの「はこぶら」などからアクセスできるよう関係部局と</p>

	<p>連携して参ります。</p> <p>最後に、今後新型コロナウイルス感染症が終息もしくは下火となった際には、GO to トラベルなど国内観光やインバウンド回復が見込まれますことから、一層の入り込みを図るべく、団体客等を受け入れる際の受け入れ基盤づくりやツアールートづくりなど誘致に関しての勉強会や意見交換を旅行代理店や宿泊施設関係者、学識経験者などを交え行いたいと考えております。先ほどご意見をいただきました、誰がどのような事をどのように行うかなど勉強していきたいと考えております。</p> <p>分科会としては、以上を検討しているところでありますが、本日ご出席の皆様からこれらのほかにご意見をいただけましたら取り組みに加えて参りたいと考えておりますのでよろしくお願ひいたします。以上でございます。</p>
小笠原支所長	<p>ただいま分科会から説明がございました。皆様からのご質問や意見などをお聞きし、活動に取り入れていきたいとの事でしたので、できる限り多くのご意見を頂戴したいと思いますので、よろしくお願ひいたします。</p>
南) 熊谷氏	<p>ガイドマップの地図が小さい。どこを中心にしてというのもないし、飲食店から次の飲食店まで何キロという距離もない。少しわかりづらいと思う。</p>
小笠原支所長	<p>分科会から作りの狙いなどあれば説明してください。</p>
小林課長	<p>今回のマップは、4地域を面的に網羅しようと考えております。ですので、どこが中心という事ではなく、全体を網羅しようという考えです。</p> <p>また、自製すると考えておりましたので、文字の大きさやマップの大きさはA3版に詰め込める大きさの文字や写真がこれくらいが限界となったものです。</p>
南) 熊谷氏	<p>地図が載っている方の上の写真をなくすれば地図を大きくしてキロ数を載せられるのではないかと。観光バスで来る人はガイドさんがいれば色々聞けるが、自家用車で来た人は次のスポットまでどのくらいかかるのか知りたいと思うので、スポット間の距離を入れられればと思うのですが。</p>
小林課長	<p>分科会でもドライブマップ的に、ここからここまで何キロあるいは何時間という表示ができないか検討しました。その中で、レンタカー事業者にも分科会に参加してもらってご意見を頂いたところ、今の観光客は大体下調べをしてきている、あるいは車にナビがついているので、あまり必要はないのではないかとのことでしたので、割愛したところでした。</p>
榎) 川口氏	<p>人の集まるなとわ・えさんで、人が来たらただパンフレットを差し出すだけでなく、4地域の事が分かっている、紹介できる人物を置いて案内した方がいい。</p>
戸) 松田氏	<p>マップもいいが、インターネットで公開とも書いているが、スマホで動画など見られるようにした方がいい。</p>

小笠原支所長	<p>それがQRコードでデータで読み取れるようにしています。 ほかにご意見はございませんか。 実際のマップのつくりやデータベースの見方についてご意見がありました。これはまだ出来上がりではありませんので、これをどう改良していくかや、どこに設置するかというご意見を頂ければと思います。 また、このマップの狙いは、旧市内から出発する人に、東部地域に向かわせる努力です。旧市内からの起点になるJR駅、空港、フェリー、レンタカー事業者など、どのようなところにプロモーションしたらいいかというご意見を頂戴したいと考えておりますが、そのような視点からほかにご意見はありますでしょうか。</p>
南) 熊谷氏	<p>江差ではいろいろな商店でマップなどを置いたり江差追分のテープを置いたりしている。土産物店だけでなくどこでも買える。恵山では商店が減ってはいるが、既存の商店だけでもいいので、PRのために協力して置いてもらうという方法もあるのかと思います。 データベースについては、基本的なものは分科会で作ってくると思うので、懇談会で案を示してもらい、皆さんから意見をもらって作ってほしい。</p>
小笠原支所長	<p>ほかにいかがでしょうか。</p>
松浦支所長	<p>南茅部はまさしく縄文の世界遺産ということで、駐車場や看板の問題は部署が違うが、支所では飲食店の事で、飲食店が下の道にあるので、遺跡を見て立ち寄りられず帰ってしまうという事を何とかしたいと思いやってきた。案内は道の駅が核だと思う。実際に行ってどのようなものを食べたいとか見たいというのはやっぱり人と話をして丁寧に説明することがこれから非常に大事になってくると思います。今後これをどのように進めていくかという事で、模索しながら進めているが、会議の第1回で観光ルートづくりの話があったが、そのようなルートづくりを今後旅行代理店や観光部、宿泊関係の方が入ったうえでたたき台を作って、それを何プランかお示しして、実際にバスで皆さんで回ってみたりして、もっとこういうものがあるというようなご意見を頂いていけば、外から来た人がもっと魅力を感じるようなルートづくりができるんじゃないかと思います。そこまでいければ、皆さんにももっとイメージが湧いて、所要時間の問題もありますし、バスがいいのか車がいいのかという議論になっていけばルートの提案を民間の方にお示ししていけば、それには費用もそう発生しないと思いますので、今はその素材集めと考えて頂ければ、今後のあり方のイメージをしていただけるのかなと思います。</p>
小笠原支所長	<p>ほかの支所長からも、もし発言があれば。</p>
芝井支所長	<p>合併する前まで遡ってみれば、それぞれの地域の中に観光協会があったり、商工会があったりして、今ここに載っているような主要施設はほぼ変わっていません。合併してからだんだん人口も減って行って、今お話もあったように、役場時代にやって行ってなかなかうまくいかなかったこともあるし、民間も入って頑張ったがなかなか長続きしなかったこともあったと思います。一方では市町村合併後、商工会も合併しまして、ほぼ類似した観光パ</p>

西川支所長	<p>ンプレットもありました。それぞれの素材を磨いて、それを線で繋いでいくということでは、それほどお金がかかるものではないと思います。</p> <p>観光ということで間口は狭いが奥行きがあって、いろいろなアプローチの仕方があるので、その辺を詰めながら、やっていければなと思います。一番の目的は今ある観光の素材で磨けば光るものを活かしていければなという思いです。</p> <p>皆様からいろいろ意見を頂いて、観光の部分でどうやってやっていくか、誰がやっていくかということで、確かにごもつともだと思います。</p> <p>私自身、市の観光課にいたこともあります。そのころの業務は問い合わせのあったお客様に観光マップとガイドブックを送付するという一見すると地味な仕事をしておりましたが、それが実は、1人1人ないしはグループの誘客につながっているんだという事を実感しました。コツコツ情報の発信をしていけば、後はお客さん自ら、また行こうとか、今度はあっちに行ってみようという形で情報発信していきます。先日もテレビでやっていましたが、一般の日本の観光客が行かないようなところに、外国人観光客が、ここいいよという情報があると、その景色を見るために来る、現地の人はずいぶん外国人が来るのかわからないが、実は、その場所でいい景色を見られたという体験が情報発信されていることで、口コミで、お客さんが来ています。我々が何とも思わないような所でも、いい資源がたくさんあると思うので、そういうものを情報発信していくということが、地道ですが、実は効果があるのではないかと考えております。後は、松浦支所長、芝井支所長が言われたように、観光ルートがあれば初めてくる人には入りがいいと思います。あとは面白いと思うものは皆さんそれぞれ違うと思いますので、いろいろなものを発信する。また、旧市内と比べて東部地域には自然がありますので、素材はふんだんにあると思います。それらを上手に発信していくということがまずは第一歩になるんじゃないかと思っています。</p>
小笠原支所長	<p>ほかに御意見はございませんでしょうか。</p> <p>今後の活動についてということで、協議事項で、皆様から意見を頂戴しました。この協議事項に関してはよろしいですか。</p> <p>皆様から沢山の意見を頂きましたが、概ね、今後の活動に関してはこれらを加えていった方がいいんじゃないかとか、出来上がりをどう活用するかという議論だったと思いますので、まずはこの分科会案の取組みをベースにして次に進んでいきたいと考えております。したがってこれが令和3年度の活動のベースになり、なおかつ分科会が何回か開かれてもっと議論を深めていき、それを親会議である皆様懇談会にご提示するという流れになっていくと考えております。</p> <p>そのように進めていきたいと思いますが、ご異議はありませんか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、本日の議題については、これで終わらせていただきます。</p>

4 その他	
小笠原支所長	<p>次に、「その他」として、何かご質問、ご意見などございますでしょうか。</p> <p>(意見等なし)</p> <p>よろしいですか。事務局から何かありますか。</p> <p>(発言なし)</p> <p>それでは、以上をもちまして、本日の日程は終了といたします。</p> <p>なお、今回の懇談会をもって、私を始め、南茅部支所長、椴法華支所長が人事異動および退職により、活動を後任の支所長に引き継ぐ事になります。それぞれ退任の挨拶の申し出がございますので、お時間をいただきたいと思います。</p> <p>(南茅部、椴法華、恵山各支所長異動、退職挨拶)</p> <p>皆様ご多忙のところ、長時間お付き合いいただきありがとうございました。次回の開催予定でございますが、分科会での議論を踏まえ、6月か7月に開催できればと考えておりますが、その際はまたお声をかけさせていただきます。</p> <p>それでは、事務局にお返しします</p>
5 閉 会	
桐澤課長	<p>それではこれもちまして、令和2年度第2回東部地域まちづくり懇談会を終了いたします。ありがとうございました。</p>
閉 会 (16時44分)	